

2. 学校に行く途中 編 <日本語版>

(朝の出勤風景。駅近辺。人々がぞろぞろ歩いている。)

(鈴木が元気なさそうにのろのろと歩いている。他に学生数名はすたすた歩いている。田中がかわててばたばた走ってくる。)

(鈴木に追いついた田中が肩を叩く。)

田中：恵美ちゃん。おはよう！

鈴木：あ、びっくりした！おはよう！なんか後ろからバタバタと音が近づいてくると思ったたら、花ちゃんか。(鈴木元気のない表情)

田中：えー？今日どうしたの？元気ないね！

鈴木：昨日寝てないから、もうふらふらだよ。

田中：どうしたの？

鈴木：昨日うっかりして、財布をカラオケに忘れちゃったんだ…

田中：えー！大変！電話したの？

鈴木：電話したんだけど、なかったんだ…

田中：いくら入ってたの？

鈴木：お金はそんなに入ってたんだけど、クレジットカードと学生証が入ってて…

田中：クレジットカードはとめた？

鈴木：うん。それで、昨日あんまり眠れなかったの。今頭がなんとなくぼうっとしてて。

田中：あ、ほんとう。起きた事はもうしょうがないよ、元気出して。いつものように、ぱっと明るく。

鈴木：うん、ありがとう。

田中：ねー、もうすぐ期末試験だけど、ちゃんと勉強してる？

鈴木：うううん、全然勉強してないよ、考えるだけでうんざり。

田中：私も！でもそろそろ勉強しないとね。

鈴木：そうだね。もっとしっかり勉強しなきゃ。